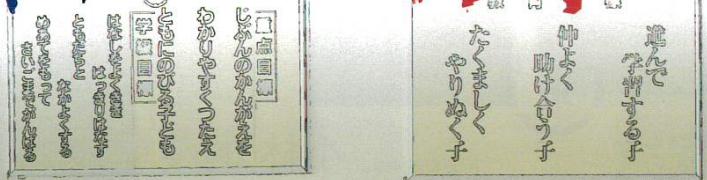


Next GenerationsがARTで表現する11年



「もやい展 2021 TOKYO」から1年数ヶ月。

「もやい展」は新たな境地への扉を開けてみようと思っています。

テーマは「かたりつむぐ」

次世代アーチストの様々なアート表現を中心に、薄れゆく3.11、

そして福島原発事故の記憶をつなぎます。

たゞましく
仲よく
助け合はず
進んで
背伸び

やりぬく子

平成二十四年
三月二十六日

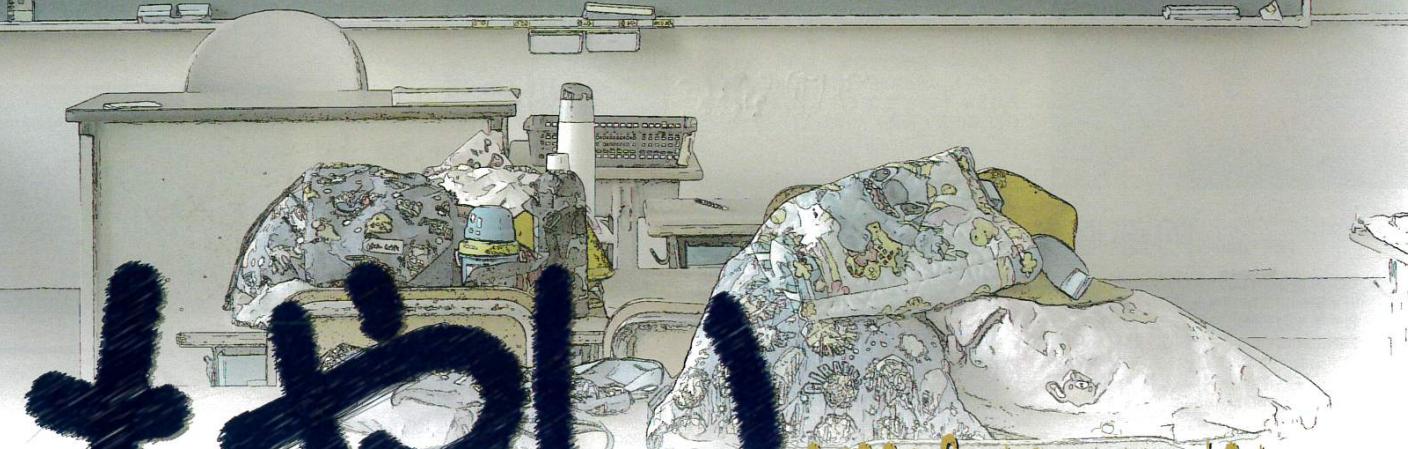
またいつか
この教室で
会いましょう！
まよみ先生より

三月
一
金

1日(月)
2日(火)
3日(水)

4日(木)
5日(金)
6日(土)

10:00-17:00
休館日：毎週木曜日



もやい next



2022年8月10日(木)→21日(日)
10時→19時(最終日17時)

アートオーラムあざみ野、
横浜市民ギャラリーあざみ野1、2F 入場無料！

(東急田園都市線、横浜市営地下鉄ブルーラインあざみ野駅徒歩7分)



詳しくはこちらを見てね
[moyai-fukushima](http://moyai-fukushima.com)



主催：もやい展実行委員会

後援：横浜市教育委員会 (公財) 横浜市芸術文化振興財団 神奈川県
協力：応援カレンダープロジェクト 森美枝子(仙台市) もやい展アーチストの皆様

お問い合わせ：2021moyai@gmail.com 090-4311-4402 (相原)

*8月9日(火) 10時より搬入作業を行います。皆様のお手伝いありがとうございます(ば井当付)。

無料開催継続、若手作家作品制作支援のため

皆様からの熱いご支援お待ち申し上げております。

ゆうちょ間送金

他行より

口座名義

ゆうちょ振替

他行より

口座名義

記号: 10190 番号: 72657011

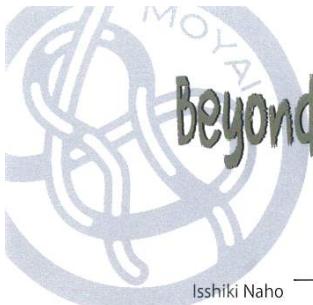
ゆうちょ銀行 018店 普通 7265701

もやい展実行委員会

00180-3-392592

ゆうちょ銀行 019店 当座 0392592

もやい展実行委員会



Beyond Generations!

世代を超えたアーチストの表現が
3.11と福島原発事故を
未来へ語りつづります。

「サクライヤ・アーチスト・MARIA GELMAN」個展決定!
「サクライヤの子供達が描いた Chernobyl 原発事故の絵画を公開!」

Isshiki Naho 一色 菜穂

1999年生まれ。2011年3月末まで千葉県我孫子市で過ごす。小学5年生の教室で絵画を体験。4月1日から親の転勤でバンコクに住む。4年間の滞在の後帰国し、東京で過ごす。東京造形大学在籍。おもに油彩による絵画作品を制作している。



中山 莉瑠 Nakayama Riru

1999年生まれ。東京藝術大学大学院先端芸術表現科在籍。主に自分の記憶や他者の記憶をお互いに共有していきながら作品を作成。福島県郡見町出身で震災当時は11歳。その時の記憶を元に制作をしたりしている。最近は参加型アートを目指していて、他者と作品をつくりあげていくような表現を実践中。

川田なつみ Kawada Natsumi

2011年3月東日本大震災の被害を福島県にて受け、宮城県仙台市へ移住。2015年4月～2019年3月 宮城大学 事業構想学部 デザイン情報学科 空間デザインコースにてデザインを学ぶ。2020年9月～2021年3月宮城大学中田研究室にて、震災復興に関する作品制作に携わる。現在、宮城大学・事業構想学研究科にて災害伝承の手法の設計に関する研究を行っている。



坂内 直美 Sakauchi Naomi

1990年 福島県南相馬市生まれ
2015年 女子美術大学大学院美術研究科美術専攻修士課程洋画研究領域 修了。個展 / 2013年「ただいま おかえり」(野馬追い通り 銘醸館2番蔵/福島) 2017年「その後」(PENSEE GALLERY/群馬)
2018年「いってきます」(GALLERY OFF GRID/福島)



Abe Takami 阿部尊美

1957東京生まれ。79年東京外国语大学卒業。
91年B-semi schooling system修了。大震災後、岩手県での活動に参加したことを契機に、社会的空间に目を向けた制作を始める。現代社会や福島原発事故に言及したインスタレーション、写真、映像の作品を作成し発表。
[https://takamiabe.jimdofree.com](http://takamiabe.jimdofree.com)



片平 仁 Katahira Jin

1959年 福島市生まれ。福島市在住。
2016年「つくることは生きること:震災『明日の神話』展」(川崎市岡本太郎美術館) 被災地からの発信:ふくしま3.11以降を描く(福島県立美術館)片平仁展(伊達市梁川美術館)
2019年 分水嶺(X Gallery・未知空間/中華人民共和国 大連市)
2013年 アジアデジタルアート大賞展、優秀賞
2015年 青木繁記念大賞西日本美術展、わだみ賞他受賞多数。



nextgene2.jpg
(1654 X 2338)

8月12日(金) 14:00より
井上 美和子さん、
さくらさん、七夏さん親子による
ほんじもよさぶり、next
開催決定!

田野 勝晴 Tano Katsuhiro

1997年生まれ 北海道出身
2022年現在武蔵野美術大学修士課程在籍
10代半ばより油絵を描きはじめ、大学進学を機に上京。現在も制作を続いている。



Toby Kobayashi 小林 桐美

1987年 福井県生まれ。
陶芸家のアメリカ人の母と日本人の父の間に双子として生まれる。
2010年 米国バーモント州、グリーン・マウンテン・カレッジ美術学科入学。環境学をカリキュラムの基盤とした小さな大学で美術を専攻する。
2018年 京都精華大学大学院芸術研究科版画領域卒業。水彩木版画を学ぶかたわら福井県で越前和紙が作られる「和紙の里」へ移住。
2019年 個展「Grabados de Fukushima」メキシコ国立文化博物館 個展「Cabbage : A message from Fukushima」ブルーネンバーグ城博物館(イタリア南チロル)



前川 加奈 Maekawa Kana

1984年 神奈川県生まれ
2010年 女子美術大学 卒業
2011年 個展 gyarely AB-OVO/東京
2013年 SNIFF OUT2013 参加/大阪
個展 ArtComplexcenter Tokyo/東京
2014年 日暮里d倉庫 舞台・寺山修二フェスティバルにて舞台美術、衣裳担当
2015年 個展 三鷹ユメノギャラリー/東京



Nakasui Jun 中筋 純

1966年生まれ。「時」に着目して Chernobyl や福島事故をテーマに作品制作。2016年より写真展「流転」を全国巡回。2017年より「もやい展」を主宰。著書は「廃墟 Chernobyl」「かさぶた」「コンセントの向こう側」ほか多数

Jasmin 金原 寿浩

1962年 東京生まれ、埼玉育ち。
1986年 創形美術学校版画科研究課程終了。
卒業後、長野県大鹿村に移住。埼玉県所沢市を経て群馬県桐生市に移住。
2017年 個展「海の声」G・オマドーン(群馬)
「今日の反核反戦展2017」丸木美術館(埼玉)
2018年「どこかであいましたね」埼玉会館(埼玉) 石井画廊(栃木) ヤマトギャラリー(群馬)、グルグルハウス(新潟)
2019年「分水嶺」X・キャラリー(中国・大連)
2020年「蒔の会」高崎高島屋(群馬) 「桐生のアーティスト2020」大川美術館(群馬)
「私の王国旗展」G・オマドーン(群馬)
2021年 丸木美術館にて個展開催。



鈴木邦弘 Suzuki Kunihiro

イラストレーター、絵本作家、介護福祉士。長岡造形大学卒業。2015年より福島県双葉郡の取材を開始。これまでに帰還困難区域を含め延べ250kmを踏破。現場の空気を感じ写真に収め、それを元にイラストレーションや絵本の制作。絵本に『楽園』『紅』『いぬどふるさと』(旬報社)がある。
<http://www003.upp.so-net.ne.jp/pigstudio/>